ボーリング柱状図

調　査　名　一級河川太田川水系谷尻川特定緊急砂防事業に伴う業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	5	1	3	2	5	4	9	1	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	Bor.No.2	調査位置	谷尻川本堤中央部	北緯	34° 29’ 43.0800″	
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	平成27年 6月15日～平成27年 6月16日	東経	132° 31’ 19.8000″	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	DL 43.77m	角度	180° 上 下 90° 0°	方向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦製D-0	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	7.00m								エンジン	NFD120	ポンプ	東邦地下工機BG-3B

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日
1									中砂～粗砂主体。 φ20～50mmの角礫混入。		
2	41.32	2.45	2.45		礫混り砂	茶褐	中ぐらい		GL-1.8m付近より粘土分増加。		6/15 2.70
3	40.17	1.15	3.60		玉石混り砂礫	暗褐			土石流堆積物。 コア長L=100mm程度の玉石点在。		
4					泥岩	暗青灰			全体に亀裂が多く発達。 亀裂沿いに風化進行し，部分的に土砂状を呈する。 下位ほど硬質。		
5											
6											
7	36.77	3.40	7.00						GL-6.4m以深，若干状態は良好となる。		
8											
9											
10											
11											
12											

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値
1.15	3	8	2	13/30	
1.45					
2.15	2	3	6	11/30	
2.45					
3.15	10	13	17	40/30	
3.45					
4.00	貫入不能			50/0	50以上
5.00	貫入不能			50/0	50以上
6.00	貫入不能			50/0	50以上
7.00	貫入不能			50/0	50以上

N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験 深度 m	試験名及び結果

試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
				6/15 ～ 6/16